

日時：2026 年 11月13日（金）9：00～12：00

場所：フォルテワジマ 4階 ハンズオン会場2

実施責任者：五十嵐 寛（浜松医科大学 医学教育推進センター）

コースディレクター：小澤章子（国立病院機構静岡医療センター 麻酔科・集中治療部）

サブディレクター：木村 哲朗（浜松医科大学附属病院 麻酔科蘇生科）

ブースリーダー：小林 賢輔（浜松医科大学附属病院 麻酔科蘇生科）、森 英明（島根大学医学部 麻酔科学）、  
渡部 達範（新潟大学大学院医師学総合研究科 麻酔科学分野）

インストラクター：安心院 純子、生田 義浩、井本 真帆、岡野 龍介、楠 真二、佐藤 暢夫、瀬尾 憲司、  
寺嶋 克幸、守田 季郎

オペレーター：市川 美智華

### セミナー概要

近年、気道管理器具や医薬品の進歩により気道確保の安全性が向上してきましたが、困難な気道確保症例がゼロになったわけではなく、日常的に気道管理を担っている麻酔科医は、いつ、どのような場面で困難気道症例に遭遇するかはわかりません。そのため、常に気道管理に関して修練を積み重ね、いざという場面に備えておくことが重要です。本セミナーでは、日本麻酔科学会（JSA）の Difficult Airway Management（DAM）アルゴリズムの考え方を基に実践的な技術や知識の習得を目標にハンズオントレーニングとシナリオトレーニングを行います。安全な気道確保のための正確な判断と適切な対応を習得したり、ご自身が体験した気道確保困難症例の振り返りを行う機会としてご活用ください。2004 年の開講以来、麻酔科医を中心に約 2,000 名の医師が日本医学シミュレーション学会主催の本セミナーを受講し、インストラクターと共に全国の仲間との連携を深める場にもなっています。

患者様への安全な医療提供を目指して、気道確保について一緒に学びませんか。

申込：事前登録制

受講者数：12 名

対象：麻酔科医師

受講料：3,000 円

※本セミナーでは、豚喉頭を用いた輪状甲状膜穿刺を実施します。